科目名: 歯科診療補助論Ⅲ	必修	2単位(90時間)
(Assisting for Dental Practice　Ⅲ)		

履修年次/時期: 1年次　後期　　授業形態: 講義

主担当教員: 劉 彦君

主担当教員詳細: 実務経験 歯科医師3年:実務経験から、歯科診療で使用される材料、器具を適切に取り 扱うための知識・技術が身につけられるよう授業を行っていく

担当教員名: 角田 晃

学修目的

歯科衛生士の業務の1つである「歯科診療の補助」では、歯科材料・器具を適切に取り扱うことが求められる。取り扱いには、材料・器具の知識を十分理解しなければ治療の結果に大きく関わってくるため、手技だけではなく理論的に知識を修得し、適切に診療補助ができることを目的とする。

関連するCP: CP2,CP3,CP4　　科目No. S1C12H29

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	−
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	−
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	−
3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	−
	(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	−
	(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○: この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

1. 歯科材料の素材および所要性質について修得する。
2. 各種印象材の理工学的知識を修得し、精度の良い印象採得へつなげられる。
3. 模型材の理工学的知識を修得し、精度の良い模型作製へつなげられる。
4. 合着材・接着材の理工学的知識を修得し、適切に修復物を装着する補助ができる。
5. 仮封の目的および種類を理解し、患者様へ注意事項を伝えることができる。
6. 歯周パックの目的を理解し、患者様へ注意事項を伝えることができる。
7. 成形修復材の理工学的知識を修得し、適切な診療の補助につなげられる。
8. 歯面および修復材研磨に用いる器材について理解し、適切な診療の補助につなげられる。

授業概要

歯科衛生士は日々数多くの歯科材料および器具を扱っている。歯科材料の理工学的知識は診療の補助および介助を行う上で必要である。また、器具についても熟知して業務に関わらなければ診療は円滑に、安全に行うことはできない。そこで、日常臨床で頻用する材料、器具について講義形式で学ぶ。

評価方法

筆記試験(80%)、受講態度・小テスト(20%)により評価する。小テストは毎回授業の最後に実施する。
以上を総合評価し、単位認定を行う。
小テストに対するフィードバックは小テスト終了後に解説する。また、中間及び後半の振り返り授業に行う。
本試験のフィードバックは掲示で行う。

予習・復習時間

【予習】2時間
【復習】2時間

教科書

A:歯科衛生学シリーズ『歯科診療補助論』 医歯薬出版株式会社
B:歯科衛生学シリーズ『歯科材料』 医歯薬出版株式会社
C:歯科衛生学シリーズ『歯科機器』 医歯薬出版株式会社

参考書

臨床科目の教科書

ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先

劉　:月～金曜日 16:00～16:30 3号館2F劉研究室　ryu@kdu.ac.jp
角 田:月～金曜日 16:00～16:30 4号館2F角田研究室　tsunoda@kdu.ac.jp
不在時にはメールでお願いします。

実施回	第1回	実施日	2026/09/11 (金)	時限	2	班	
授業計画	【歯科材料の基礎(1)】 1. 歯科材料の種類を説明できる。 2. 歯科材料にかかわる基本的性質を理解し、特徴を説明できる。 3. 歯科材料の所要性質を理解し、説明できる	予習	B:4-23				
		復習	歯科材料の基本的性質、特徴				
		キーワード	機械的性質、物理的性質、化学的性質				
授業形態	講義	担当	角田				

実施回	第2回	実施日	2026/09/18 (金)	時限	2	班	
授業計画	【歯科材料の基礎(2)】 1. 高分子歯科材料の性質と特徴を説明できる。 2. 歯科無機材料の性質と特徴を説明できる。 3. 金属材料の性質と特徴を説明できる。	予習	B:4-23				
		復習	各種歯科材料の素材の特徴				
		キーワード	有機材料、無機材料、金属材料、生体材料の安全性				
授業形態	講義	担当	角田				

実施回	第3回	実施日	2026/09/25 (金)	時限	2	班	
授業計画	【印象材の種類と分類】 1. 各種印象材を特徴別に分類できる 2. 印象材の一般的性質を説明できる	予習	A : 192-195、B:43-46、53-58				
		復習	各種印象材の特徴				
		キーワード	弾性印象材、印象精度、寸法安定性				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第4回	実施日	2026/10/02 (金)	時限	2	班	
授業計画	【印象用材用(1)】アルジネート印象材 1. アルジネート印象材の主成分と硬化反応を説明できる。 2. 長所、短所を理解し、用途について説明できる。 3. ゲル化時間の調節について説明できる。 4. 印象体の消毒の必要性と方法について説明できる。	予習	A : 197-202、B:46-48				
		復習	特徴、組成、硬化反応				
		キーワード	ゾル、ゲル、不可逆性ハイドロコロイド印象材				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第5回	実施日	2026/10/09 (金)	時限	2	班	
授業計画	【印象用材用(2)】寒天印象材、合成ゴム質印象材 1. 主成分と硬化反応を説明できる。 2. 基本的性質を説明できる 3. 長所、短所を理解し、用途について説明できる。	予習	A : 203-204、B:48-50				
		復習	特徴、組成、硬化反応				
		キーワード	可逆性ハイドロコロイド印象材、熱可塑性				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第6回	実施日	2026/10/16 (金)	時限	2	班	
授業計画	【印象用材用(3)】酸化亜鉛ユージノール印象材、コンパウンド 1. 主成分と硬化反応を説明できる。 2. 基本的性質を説明できる。 3. 長所、短所を理解し、用途について説明できる。 【ワックス】 1. ワックスの種類・用途を理解し、基本的性質を説明できる。	予習	A : 204-213、251-253 、B:50-53、128-134				
		復習	種類、特徴				
		キーワード	酸化亜鉛ユージノール印象材、モデリングコンパウンド、 所要性質、フロー、バイトワックス、ユーティリティワックス				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第7回	実施日	2026/10/23 (金)	時限	2	班	
授業計画	振り返り授業	予習	1～6回までの項目、配付プリント				
		復習	1～6回までの項目、配付プリント				

		キーワード	
授業形態	講義	担当	○角田, ○劉

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/10/30 (金)	時限	2	班	
授業計画	【模型用材料】 1. 種類と特徴、用途について説明できる。 2. 混水比について説明できる。 3. 硬化反応について説明できる。 4. 硬化反応に影響する因子について説明できる。 5. 模型の消毒と処理について説明できる。	予 習	A : 214-221、B : 59-71				
		復 習	種類、用途				
		キーワード	硬化反応、混水比、硬化時間、硬化膨張、吸水膨張、圧縮強さ				
授業形態	講義	担当	角田				

実 施 回	第9回	実 施 日	2026/11/06 (金)	時限	2	班	
授業計画	【修復材(1)】グラスアイオノマーセメント 1. グラスアイオノマーセメント(GI)の組成と硬化機構を説明できる 2. GIの性質について説明できる。 3. GIの使用上の注意点について説明できる。	予 習	A : 236-239、B : 93-95、104-106				
		復 習	特徴、性質				
		キーワード	グラスアイオノマーセメント修復、裏装、感水、崩壊率				
授業形態	講義	担当	角田				

実 施 回	第10回	実 施 日	2026/11/13 (金)	時限	2	班	
授業計画	【修復材(2)】コンポジットレジン、セラミックインレー 1. コンポジットレジン(CR)の組成を説明できる。 2. 重合方式による分類を理解し、諸性質について説明できる。 3. 接着システムを理解し、取り扱いの注意点について説明できる。	予 習	A : 236-239、B : 90-93、96-104				
		復 習	組成、接着機構				
		キーワード	コンポジットレジン修復、接着、光照射、研磨				
授業形態	講義	担当	角田				

実 施 回	第11回	実 施 日	2026/11/20 (金)	時限	2	班	
授業計画	【仮封用材料】 1. 仮封の目的および種類を説明できる。 2. 仮封材の基本的性質を説明できる。 【仮着用材料】 1. 仮着の目的および種類を説明できる。 2. 仮着用材料の基本的性質を説明できる。	予 習	A : 240-250、B : 108-119、125-127				
		復 習	目的、種類、特徴				
		キーワード	仮封、仮着、単一仮封、二重仮封				
授業形態	講義	担当	劉				

実 施 回	第12回	実 施 日	2026/11/27 (金)	時限	2	班	
授業計画	【合着・接着用材料(1)】 1. 合着と接着の違いを説明できる。 2. 基本的性質(硬化時間、酸性度、圧縮強さ、被膜厚さ、崩壊率、接着性、コンシステンシー、フッ素徐放性)について説明できる。 3. 合着・接着用材料の基本的性質を説明できる。	予 習	A : 222-235、B : 72、82-89				
		復 習	A : 222-235、B : 72、82-89				
		キーワード	合着、接着、硬化時間、酸性度、圧縮強さ、被膜厚さ、崩壊率、酸性度、接着性、稠度、フッ素徐放性				
授業形態	講義	担当	劉				

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/12/04 (金)	時限	2	班	
授業計画	【合着・接着用材料(2)】 1. 合着材と接着材の種類を挙げることができる。 2. 合着材の組成と特徴を説明できる。 3. 接着性レジンセメントの組成と特徴を説明できる。	予 習	A : 222-235、B : 72-82、87-88				
		復 習	A : 222-235、B : 72-82、87-88				
		キーワード	合着、接着、硬化時間、酸性度、圧縮強さ、被膜厚さ、崩壊率、酸性度、接着性、稠度、フッ素徐放性				
授業形態	講義	担当	劉				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/12/11 (金)	時限	2	班	

授業計画	【研磨に用いる器具】 1．研磨について目的別に説明できる。 2．各種研磨に使用する器具の取扱いを説明できる。 3．歯面研磨に使用する研磨剤を理解する。 【歯周パック】 1．歯周パックの目的を説明できる。 2．装着後の患者指導ができる。	予　習	B:26-28 B:152-155
		復　習	B:26-28 B:152-155
		キーワード	研磨、バー、ポイント、ディスク研磨用ストリップス 非ユージノール系、患者指導
授業形態	講義	担当	角田

実 施 回	第15回	実 施 日	2026/12/18 (金)	時限	2	班	
授業計画	振り返り授業	予　習	8回-14 回までの項目、配付プリント				
		復　習	全項目				
		キーワード					
授業形態	講義	担当	○劉, ○角田				